

DNC

Daikyo
Nishikawa
Corporation

Business Report

第13期 中間株主通信

2019年4月1日から2019年9月30日まで

－ トップインタビュー

新しい環境のもと、全社一丸で、
さらなる飛躍を目指します。

- ごあいさつ
- 第2四半期の業績について
- 通期の業績見通しについて
- 将来に向けた取り組みについて

－ 連結財務ハイライト

－ 製品紹介

- インストールパネル

－ DNCネットワーク

- グローバル事業拠点
- [シリーズ企画]世界へ挑む

－ トピックス

- DaikyoNishikawa USA Inc.起工式

会社概要／会社役員／株主メモ／株式の状況／
株式分布状況／大株主／1株当たり配当金・配当性向／
本社移転のお知らせ／表紙について

ともに輝き、成長する企業へ

～未来の礎となる人財を育む～



2019年10月
本社



2019年9月
可部工場



2019年11月
八本松工場



2019年9月
可部工場

[2019年度女性活躍研修にて]

業績に関する
Keyword

●主要販売先への売上増
(対前年同期比)

●働き方改革による福利厚生施策費用

●本社工場の減価償却開始

▶ トップインタビュー | Top Interview

新しい環境のもと、全社一丸で、 さらなる飛躍を目指します。

代表取締役社長
内田 成明



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの度重なる台風等の災害で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社の第13期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

第2四半期の業績について お聞かせください。

当 第2四半期における事業環境は、米国と中国の貿易摩擦や英国のEU離脱問題の長期化で、先行きの不透明感が増し、自動車業界においては、中国や北米などにおける自動車販売が低迷を続け、全般的に厳しい環境となっております。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、日本、タイ子会社、インドネシア子会社での主要販売先への売上が前年同期に比べ増加したこと等により、売上高は94,435百万円(前年同期比11.6%増)となりました。営業利益は、増収効果やコスト低減活動による改善効果はあったものの、働き方改革

の一環である社員の福利厚生施策費用や、本社工場が2019年5月より一部稼働を開始したことに伴う減価償却費の増加、メキシコの減産影響及び新車種立ち上げ費用等により、5,307百万円(前年同期比14.8%減)、経常利益は5,529百万円(前年同期比13.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,002百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

なお、中間配当につきましては、2019年11月13日開催の取締役会において、1株につき15円とすることを決議いたしました。

通期の業績見通しについて お聞かせください。

通 期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の連結業績予想につきましては、売上高は、海外での主要販売先の生産減により、前回予想193,000百万円を下回る見込みとなりました。利益につきましては、減産影響や設備に対する先行投資にかかる費用の増加等により、営業利益の前回予想10,600百万円、経常利益の前回予想10,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益の前回予想6,900百万円をとともに下回る見込みとなりました。

売上高は189,000百万円(前期比2.5%増)、営業利益10,400百万円(前期比28.9%減)、経常利益10,500百万円(前期比29.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益6,700百万円(前期比35.6%減)を見込んでおります。

厳しい環境ではありますが、総力を挙げて目標達成に向け取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

将来に向けた取り組みについて お聞かせください。

米 国新工場では、8月に起工式を終え、2021年の生産開始を目指し計画どおりに建設を進めております。

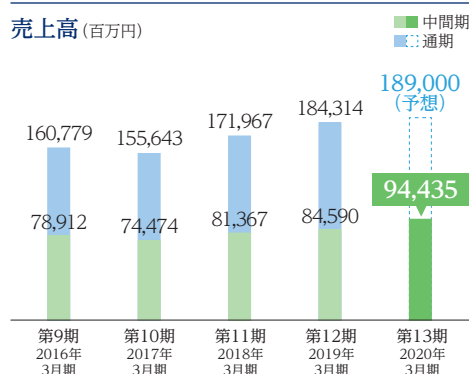
また、新本社／本社工場につきましては、いよいよ竣工の時を迎えます。2019年12月末に移転を行い、年明けからは新しい環境のもと、一層の業務効率アップを図ってまいります。

今期は先行投資が重なりますが、収益力強化のための基盤固めをしっかりと行い、中期経営計画最終年度である2023年3月期での結実に向け着実に取り組みを推進し、さらなる成長を目指してまいります。

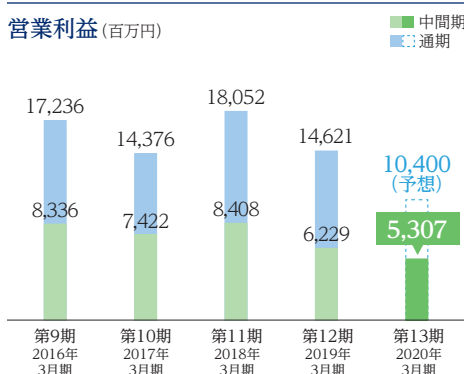
成長を実現させるには、企業を支える礎となる優秀な人材が必要不可欠です。当社は、働き方改革への取り組みをとおして人材育成にも注力し、様々な施策を立てております。とりわけ女性活躍の推進については、プロジェクトを3年前に発足させ、プロジェクトから出た提案を反映させた制度改革を行うなど、より働きやすい環境づくりに全社一丸で取り組んでおります。ダイキョーニシカワの将来にご期待ください。

連結財務ハイライト

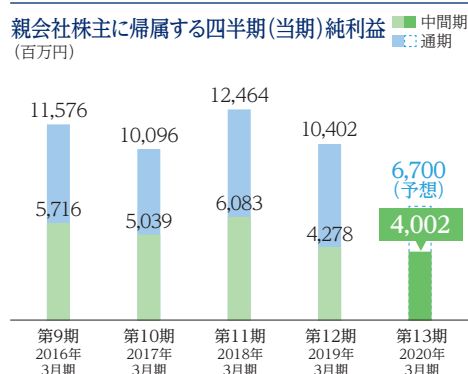
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(百万円)



▶ 製品紹介 | Product Introduction

“感性に響く”上質で快適な空間を演出 インストルメントパネル



インストルメントパネルとは

自動車の前席の内装部品。運転席・助手席の正面にある、メーター類や装置類、グローブボックス(収納スペース)等が装着されたパネルです。ダッシュボードともいいます。

当社では、乗る人がより快適に過ごせる空間づくりを目指して、“人”を中心とする考え方に基いたインストルメントパネルの開発を行っています。

自動車に安全性、機能性が求められるのはもちろんですが、近年は快適性へのニーズが高まっています。インストルメントパネルは、“人”が直接見て触れる部品です。見た目の美しさや上質感を高めるだけでなく、触感や音など五感に響く快適性が求められます。また、視界の良さも快適性の重要な要素の一つとなります。

インストルメントパネルの運転席周りには様々な機器が設置されているため、視覚的に煩雑で、これをいかにすっきりさせるかが課題でした。これらの機器は、従来個々の部品ごとに配置を行っていましたが、当社ではインストルメントパネル全体でトータルに捉え、構造から見直しました。機能の集約と一体化を行ったことで、より運転に集中でき、快適で心地よい空間を実現しております。

“ユーザー目線”で考えることを常に心がけ、細部にまでこだわって、根気強く「どうすればできるようになるのか」アイデアを出し合いながら考え、日々チャレンジを続けています。

開発担当者が語る

ココに
注目!

今年発売されたMAZDA3のインストルメントパネルには、本革のシボ(しわ模様)を忠実に再現した表皮が採用されており、質感の向上に一役買っています。当社の技術の結集である精緻なデザインを、ぜひ実際に見て、触れて、感じていただきたいです。



開発本部
松岡 大輔

▶ DNCネットワーク | DNC Network

●グローバル事業拠点



トピックス

DaikyoNishikawa USA Inc. 起工式

2019年8月22日(木) 午後3時(現地時間)より、Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc. 敷地内にて、アラバマ州知事をはじめ多数の来賓ご臨席のもと、DaikyoNishikawa USA Inc. (以下、DNUS) のGroundbreaking Ceremony(起工式)を執り行いました。

起工式の模様は、現地の夕方の報道番組でもトップニュースで取り上げられ、DNUS工場建設には高い関心を寄せていただいております。

皆様のご期待に沿い、地域社会にも貢献できるよう、鋭意努めてまいります。



シリーズ企画

世界へ挑む

【タイ: ラヨーン】DaikyoNishikawa (Thailand) Co., Ltd. (DNTH)

日本文化や仕事からの学びを通して、日本とタイの懸け橋に。

DNTHは、2007年7月にタイのラヨーン県に設立された会社で、自動車のバンパーやインストルメントパネルを製造しています。ラヨーン県はタイの経済を支える中心的存在の県ですが、リゾート地としても有名で、美しいビーチが自慢の自然豊かな島が多数あります。マンゴーやドリアンなどのトロピカルなフルーツが楽しめる農園は、人気の観光スポットの一つです。



Manufacturing Department
副部長 (2008年入社)
Pichet Komalodaka

私は、DNTHが社員教育に力を入れている点に魅力を感じ、この会社なら自身も一緒に成長できると思い、2008年に入社しました。入社後には、生産管理や品質管理といった業務に関することだけでなく、日本の文化や仕事への取り組み方など多くのことを教わりました。新製品の生産工程を見学するため日本にも行かせていただき、日本人のチームワークを大切に仕事のやり方、考

え方に触れ、ますます日本が好きになりました。

現在は、製造部の副部長として、成形課、塗装課、組立課の3部門の管理を担当しています。問題が発生した際には緊急で対策を立てたりと、プレッシャーも多い仕事ですが、計画どおりに生産を行えるよう仲間と協力して業務にあたっています。

グローバル企業にふさわしい人材となるべく、さらに幅広い知識を身に付け、スキルを磨いて、将来は日本人とタイ人の懸け橋となり、仲間が幸せに働ける環境づくりに貢献できるよう努力を重ねていきます。



会社概要

(2019年9月30日現在)

社名	ダイキョーニシカワ株式会社
本社	広島県安芸郡坂町北新地一丁目4番31号
設立	2007年4月1日
資本金	54億2,665万3,900円
従業員数	5,326名(連結)

会社役員

代表取締役社長	内田 成明
代表取締役副社長	野口 悟
取締役専務執行役員	竹岡 健次
取締役専務執行役員	桧山 俊夫
取締役専務執行役員	錦村 元治
取締役専務執行役員	和木 深水
社外取締役	出原 正博
社外取締役	佐々木 茂喜
社外取締役	向井 武司
常勤監査役	繁元 則彦
社外監査役	安村 和幸
社外監査役	廣田 亨

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰余金の配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777(平日9:00 ~ 17:00)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告掲載方法	電子公告 http://www.daikyonishikawa.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

本社移転のお知らせ

当社は、2020年1月6日より下記住所において業務を開始いたします。

新住所 〒739-0049
広島県東広島市寺家産業団地5番1号

なお、現所在地での業務は、2019年12月26日をもって終了いたします。

詳細につきましては、当社HPでご確認ください。
<http://www.daikyonishikawa.co.jp/>



こちらのQRコード
からもアクセス!



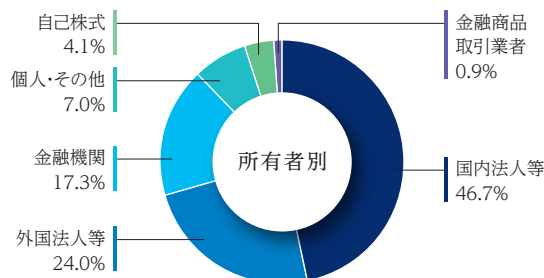
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	236,704,000株
発行済株式の総数	73,896,400株
単元株式	100株
株主数	4,349名

株式分布状況

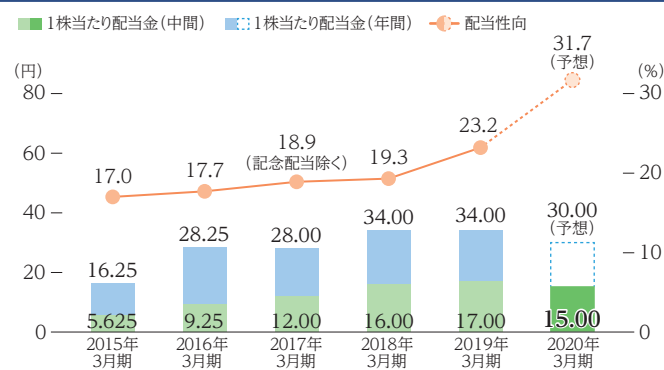


大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
西川ゴム工業株式会社	11,835,200	16.7
株式会社イノアックコーポレーション	3,924,600	5.5
三菱商事プラスチック株式会社	3,924,600	5.5
住友商事株式会社	3,573,680	5.0
株式会社広島銀行	3,541,800	5.0
マツダ株式会社	3,541,800	5.0
三井物産株式会社	3,222,720	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,928,200	4.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,655,100	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,832,600	2.6

(注) 当社は、自己株式3,042,930株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

1株当たり配当金・配当性向



※2016年1月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。上記は株式分割後に換算した数値を記載しております。

表紙について

女性活躍研修

当社は、多様な人材がその人格を尊重され、公平・公正に評価される職場環境づくりの一環として、女性活躍の推進にも取り組んでおります。中でも、4年前から行っている女性活躍研修は、女性社員のみならず、男性管理職も一緒に受講していることが特徴です。

今回は講師にK mind代表の松永佳世子先生をお招きし、8月5日から11月1日まで、8拠点で24回開催し、436名の社員が受講しました。これからも継続的に学び、教え、ともに育つ職場環境の醸成に努めてまいります。



ダイキョーニシカワ株式会社
TEL: 082-885-9979

